

所 属	健康福祉環境部 南飛驒国際健康保養地推進室		
担当(係)名	南飛驒総合健康増進センターグループ	内 線	

(款) 4 衛生費	(項) 1 医務費	(目) (3) 健康増進対策費
(明細書事業名) 国際健康保養地構想推進事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

1,590,345

2 当初予算(決定)額(千円)

1,514,527

(前年度 656,999)

【財源内訳】

国 庫

20,000

県 債

1,127,000

一般財源

367,527

3 事業概要

当県の地域特性を活かしながら、東西医学、薬膳、食事療法、運動療法、温泉浴、森林浴などのほか、美容、音楽、芸術までを含めた様々な健康資源を活用し、健康増進、休養・保養、治療の各機能をネットワーク化することにより、県民の心身のリフレッシュを図る「総合健康リゾート」の形成を通じて「健康な地域づくり」を行う国際健康保養地構想を推進します。

このため、「国際健康保養地構想」のモデル事業として、特に恵まれた自然環境や全国有数の名泉である下呂温泉を有し、更には東洋医学を先駆的に取り入れている県立下呂温泉病院が存在する益田地域等の南飛驒地域を対象に、地元町村と一体となって「南飛驒国際健康保養地」として整備します。

当室では、益田郡萩原町において、この中核施設とする「総合健康増進センター(仮称)」を「場の力や自然との関わりを通じた健康・美容づくりに関する研究、学習、体験、実践、交流の拠点」となる「県民の健康道場」として整備し、自然治癒力の向上による健康生活の確立を図ります。

4 施策の効果

当事業は、総合健康増進センター(仮称)だけでなく、治療、機能回復の場とする「南飛驒総合健康医療センター(仮称)」の整備と一体となって進めていくものです。

また、南飛驒の地域資源(温泉、森林、河川、風土、歴史、文化等)を活かしながら様々なソフトプログラムを展開する各町村の健康増進拠点施設等と連携しながら、地域全体にハード(施設)・ソフト(事業)・マンパワー(人材)にわたる密接なネットワークを形成することとします。

これにより、岐阜県のオリジナルな健康づくりによる県民の健康維持・増進に寄与するだけでなく、地域の活性化(地場産業の振興等)、魅力ある健康な地域づくりにつながっていくことを目指します。

更には、南飛驒をモデルとし、県下全域に施策の効果が波及することにより、身近な地域資源を活用した健康づくり事業、健康な地域づくり事業が全県下に普及します。

5 要求の内容

< 主な要求項目 >

(1) 薬草園の整備推進: 357,400千円

(2) 駐車場、道路等の基盤整備の推進: 396,731千円

(3) (財)岐阜県健康長寿財団が実施するソフト事業に対する補助金: 9,009千円

(4) 森林整備: 41,460千円

(5) 総合健康増進センター(仮称)の維持管理: 34,662千円

(6) 用地の購入: 721,535千円

6 用語の解説

自然治癒力

からだを自然に治す不思議な力(例えば、傷を負った時、自然にかさぶたができ数日経つと傷が消えてしまうといったことである。)

7 決定内容

< 主な決定項目 >

- (1) 薬草園の整備推進: 357,000千円
- (2) 駐車場、道路等の基盤整備の推進: 357,000千円
- (3) (財)岐阜県健康長寿財団が実施するソフト事業に対する補助金: 8,300千円
- (4) 森林整備: 40,000千円
- (5) 総合健康増進センター(仮称)の維持管理: 6,000千円

当面の所要額として既存施設に係る14年度所要額と同額の6,000千円を計上することとし、新設施設(健康学習センター、キャンプ縄文)を含む年間経費については、施設の具体的な運営手法等を明確にした上で、使用料とともに補正時に整理することとした。

- (6) 用地の購入: 721,535千円